

北海道浮魚ニュース

平成 14(2002)年度 20 号 (通巻 No.140)

2002 年 9 月 27 日

北海道立水産試験場

平成 14 年度オホーツク海サンマ漁況見通し

北海道立釧路水産試験場・網走水産試験場・稚内水産試験場および独立行政法人水産総合研究センター東北区水産研究所・北海道区水産研究所が協議を行い、9月26日に「平成14年度オホーツク海サンマ漁況見通し」を発表しましたのでお知らせします。

【漁況見通し】

来遊資源量：昨年を下回る

太平洋海域の中型・小型魚の分布量は昨年よりやや多いと推定されるが、南千島海域の水温が低くオホーツク海への回遊条件は良くない。

魚体組成：中型・小型魚主体で、昨年より小さい

9月中旬の漁獲試験では、中型・小型魚が主体に漁獲された。

来遊時期：昨年よりやや早い

8月から9月上旬のオホーツク海南部海域の表面水温は昨年より低いいため、北海道沿岸への魚群の来遊時期はやや早まる。

魚体説明：特大魚（体長32cm以上）、大型魚（体長29-31cm台）、中型魚（24-28cm台）、小型魚（20-23cm台）、ジャミ（20cm未満）

1. オホーツク海で漁獲されるサンマの回遊(予備知識)

例年オホーツク海で漁獲対象となる魚群は中型・小型魚が主体で、この群は南部千島太平洋側へ接岸したものの一部が、7月から8月にオホーツク海へ移動・回遊するものと考えられる(図1)。従って、7月から8月に太平洋海域に分布する中型・小型魚の分布量が多く、なおかつ南部千島海域の表面水温がサンマの移動・回遊に適していれば、オホーツク海への来遊資源量は多いと考えられる。オホーツク海に回遊したサンマは、8月から9月頃はオホーツク海の中南部海域に広く分布するが、秋期に海水温が低下すると、比較的水温が高い(10以上)北海道沿岸域へと移動しここに漁場が形成される(図1)。

2. 来遊資源量

東北水研が6月から7月に実施したトロール調査結果から、東経162度以西の太平洋海域における中型・小型魚の分布尾数は、昨年(74.5億尾)をやや上回る85.4億尾と推定されることから、今年の太平洋海域における**中型・小型魚の分布量は、昨年よりもやや多い**と推測される。

また、今年の7月中旬から8月下旬の南千島海域における表面水温10以上の面積数(図2)は、平成8年以降では最も低く推移しており(図3)、サンマの回遊に適さない水温10以下の水に広く覆われていた。従って、今年の**太平洋からオホーツク海への回遊条件は良くない**と考えられる。

以上のことから、今年のオホーツク海の**サンマ来遊資源量は、昨年を下回る**と考えられる。

3. 魚体組成

昨年のオホーツク海では、棒受網漁船は大型魚を含む中型魚主体のサンマを漁獲し、10月に調査船で行った流し網調査でも、中型魚を主体に大型魚が混じったサンマが採集された。一方、今年の9/9～9/12に実施した調査船によるオホーツク海域の漁獲調査では、大型魚は漁獲されず中型・小型魚主体のサンマが漁獲された(図4)。また、今年8月に道東太平洋海域で漁獲されたサンマ中型・小型魚の体長モードは24～25cmで、昨年(27～28cm)より小さかった。

以上のことから、今年のオホーツク海での**魚体組成は中型・小型魚が主体で、昨年より小さくなる**と考えられる。

4. 北海道沿岸域への来遊時期

今年の8月から9月上旬のオホーツク海南部海域(北緯45°～47°、東経144°～147°)の表面水温は主に15以下となっており、昨年同期(主に15～17台)より低く推移した(「太平洋漁海況速報」漁業情報サービスセンター)。このため太平洋からオホーツク海へ回遊したサンマが**北海道の沿岸域に移動する時期は昨年よりやや早まる**と考えられる。

5. 初漁日

夏季のオホーツク海沿岸域の最高表面水温とサンマ初漁日の間には、漁獲量が多い年は水温が低い年ほど初漁日が早くなる傾向が見られる(図5)。しかし、漁獲量が少ない年は、水温が低くても初漁日が遅れることがある。

今年の夏季最高表面水温は15.2と低いいため、初漁日は早いとも考えられるが、来遊資源量が少ないと予想されることから、サンマが沿岸域に来遊しても**漁場がほとんど形成されないか形成時期が遅れる**可能性がある。

(文責：釧路水産試験場 資源管理部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)

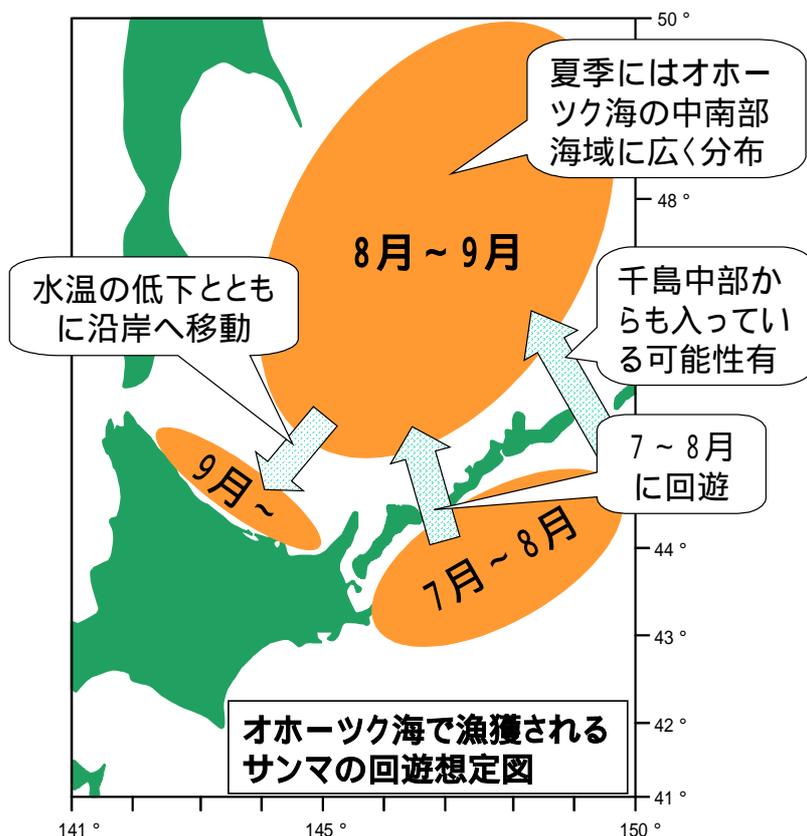


図1 オホーツク海で漁獲されるサンマの回遊想定図

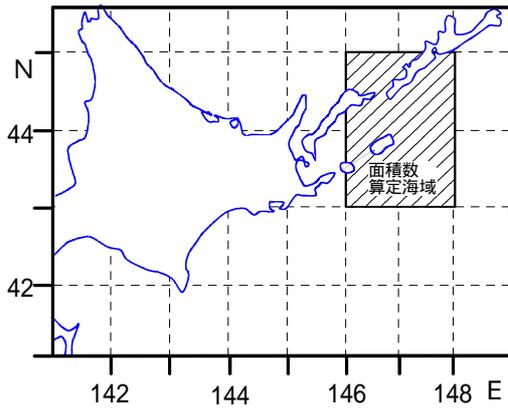


図2 表面水温 10 以上の面積数を算定した海域(緯・経度1度で囲まれた面積を1として算出)

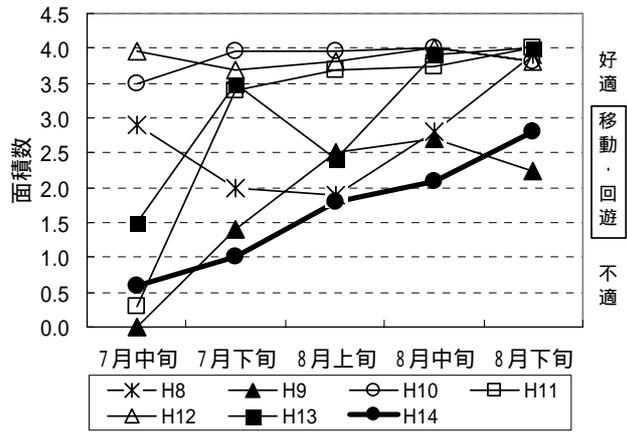


図3 南千島海域における表面水温 10 以上の面積数

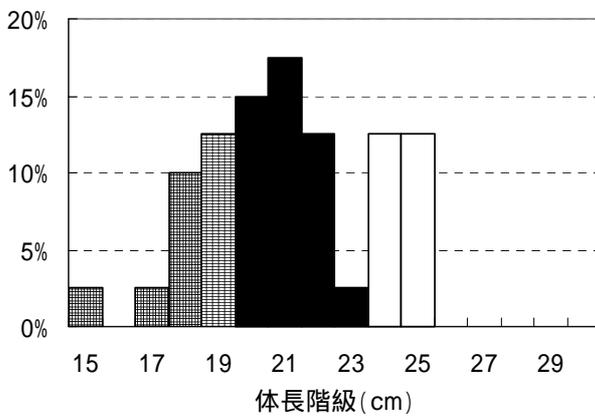


図4 調査船がオホーツク海で漁獲したサンマの体長組成図 (体長 15cm 以上の漁獲物のみ図示)

□ : 中型魚 (24 ~ 29 cm)
 ■ : 小型魚 (20 ~ 24 cm)
 ▨ : ジャミ (20cm未満)

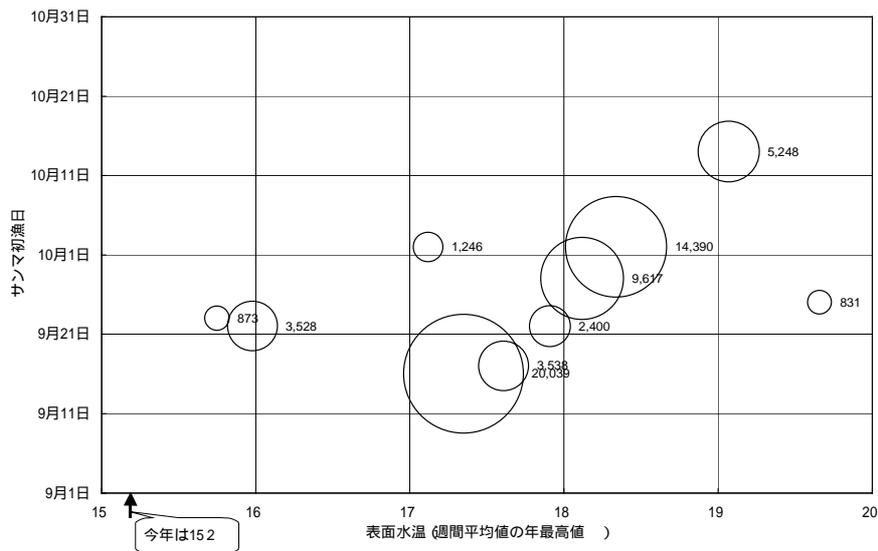


図5 オホーツク海沿岸における夏季表面最高水温とサンマ初漁日の関係 (図中の数字は漁獲量(トン)を示す) 漁獲量が500トン以上の年のみ図示 (図中の数字は漁獲量)